

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(例)

【学 年】 小学校第3学年

【単元名】 「組み立てにそって、物語を書こう」(「たから島のぼうけん」 光村図書 全8時間扱い)

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
(1)オ 様子や行動, 気持ちや性格を表す語句の量を増し, 話や文章の中で使うとともに, 言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し, 語彙を豊かにすること。	B 書くこと (1)イ 書く内容の中心を明確にし, 内容のまとまりで段落をつくったり, 段落相互の関係に注意したりして, 文章の構成を考えること。 (1)オ 書こうとしたことが明確になっているかなど, 文章に対する感想を伝え合い, 自分の文章のよいところを見付けること。

【主な学習活動と留意点】

領域「書くこと」のつながり: 「食べ物のひみつを教えます」調べたことについて例を挙げて説明する文章を書いた。

- ・調べる材料を決め, 調べた物事の間を関を図や表で整理した。
- ・食品の例を挙げ, 説明する文章を書いた。

働かせる見方・考え方: 物語の組み立てに着目し, 地図を見て想像したことについて, 物語の始まりやむすびと, 出来事とその解決を関連付ける。

段階	学習活動(時間)	留意点
第一次	1 教科書の「たから島の地図」を見て, たから物を手に入れる冒険を想像する(1)	<p>想像力を働かせながら, 題材の設定を</p> <p>☞子どもがわくわくする気持ちを高めながら, どんな冒険か想像できるように, 地図を見て気付いたことを出し合い, 自由にやりとりする時間を確保する。</p>
	2 学習テーマを設定し, 学習計画を立てる(1)	
学習テーマ: 地図から想像したことをもとに物語を書き, 読み合おう		
第二次	3 時・場所・人物・出来事を設定し, 「はじめ」「中」「おわり」の組み立てで, 内容を考える(2)	<p>既習の文章の書き方を想起, 本単元で活用を 単元の重点</p> <p>☞「食べ物のひみつを教えます」で使った「はじめ」「なか」「おわり」の組み立てを確認し, 子どもが想像した冒険の内容を組み立てに合わせて整理する場を設ける。</p>
	4 物語を書いて, 読み返す(2)	<p>観点を決め, 内容や表現のよさを伝える共有を 単元の重点</p> <p>☞友だちの物語で一番おもしろいと思ったところを伝えるなど, 読み合う際の観点を明確にし, 書き手の願いを踏まえて読み手が感想を伝え, よさを共有できるようにする。</p>
第三次	5 読み合って, 感想を伝える(1)	<p>自分の学びを振り返り, 次につながる共有を</p> <p>☞内容と組み立てを合わせるときに大事にしたことなど, 子どもが学んだことを自覚できるような観点を据える。</p>
	6 単元の学習を振り返る(1)	

次単元へのつながり: 「ことわざについて調べよう」本で調べて, 報告する文章を書く。
・集めたことわざを比較したり分類したりして整理し, 報告書にまとめて読み返す。